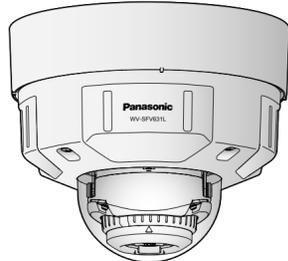


ネットワークカメラ

品番 **WV-SFV631L/WV-SFV631LT**
WV-SFV611L



※イラストはWV-SFV631Lです。



- 本書では、設置手順説明、ネットワークカメラの取り付け、各ケーブルの接続と画角の調整について記載されています。
- 本書の設置手順はWV-SFV631Lを例として説明しています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

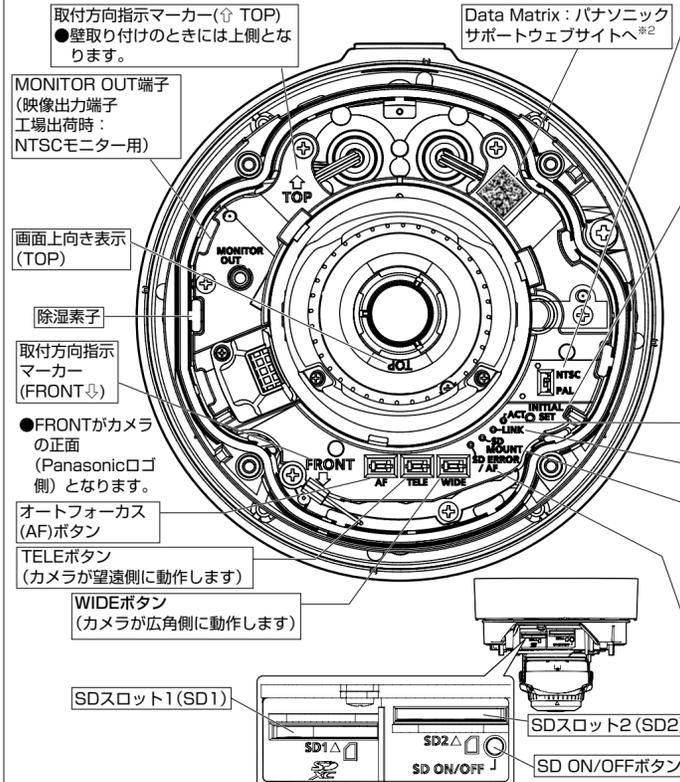
パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2017 PGQX1454WA avs1213-3047 Printed in China

各部の名前

本機の各部の名前は以下のようになっています。設置、調整時に参照してください。



※1 SDXC/SDHC/SDメモリーカードをSDメモリーカードと表記しています。
※2 読取アプリケーションによってはうまく読み取れない場合もあります。そのときはURLを直接入力してください。
http://security.panasonic.com/pss/security/support/qr_sp_select.html

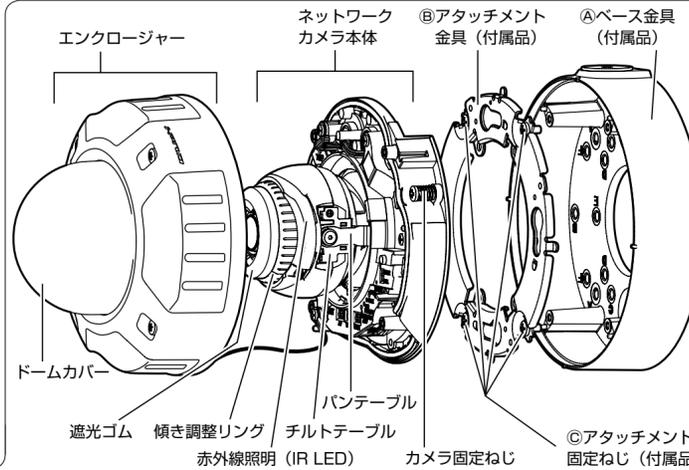
付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編.....1冊 取扱説明書 設置編(本書).....1式
保証書.....1式 CD-ROM *1.....1枚
コードラベル *2.....1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| Ⓐ ベース金具.....1個 | Ⓔ アタッチメント金具.....1個 |
| Ⓒ アタッチメント固定ねじ (M4x8 mm) 5本
(1本は予備) | Ⓕ 4Pアラームケーブル.....1本 |
| Ⓓ 型紙A (アタッチメント金具用).....1枚 | Ⓖ MONITOR OUT変換プラグ.....1本 |
| Ⓔ ビット.....1個 | Ⓗ 型紙B (ベース金具用).....1枚 |
| Ⓖ LANケーブルカバー.....1個 | Ⓘ 2P電源ケーブル.....1本 |
| | Ⓙ 防水テープ.....1個 |



NTSC/PALスイッチ

●MONITOR OUT端子の出力を、NTSCモニター用/PALモニター用に切り換えることができます。

重要

- [モニター出力]の設定が「切換スイッチ優先」のときに有効です(初期設定は「切換スイッチ優先」)。詳しくは付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

INITIAL SETボタン

- 初期化するには本機を初期化する場合、以下の手順で実施してください。
- ①本機の電源を切ります。PoEハブを使ってご使用の場合はEthernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルのコネクター接続を外してください。
- ②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを5秒以上押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵 (SSL暗号化キー) は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

ACTランプ

●ネットワークカメラがデータ送受信時

緑点滅 (アクセス中)

LINKランプ

●接続機器と通信可能になったとき

橙点灯

SD MOUNTランプ

- SDメモリーカード^{※1}を挿入して認識できた場合
- SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し、保存可能な状態になったとき
- SDメモリーカードに保存できる状態のとき
- SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)してSDを取り出す場合
- SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき

消灯→緑点滅→消灯

消灯→緑点灯

緑点灯

緑点灯→緑点滅→消灯

消灯

SD ERROR/AFランプ

- AF (オートフォーカス) 実行中
- セツトが起動中
- 正常にSDメモリーカードが認識された場合
- 起動後SD1、2両方共にSDメモリーカード異常が検出された場合
- 起動後SD1のみSDメモリーカード異常が検出された場合
- 起動後SD2のみSDメモリーカード異常が検出された場合

赤点滅 (1回/1秒程度)

赤点灯

赤点灯→消灯

赤点灯→赤点灯のまま

赤点灯→赤点滅 (1回/3秒程度)

赤点灯→赤点滅 (2回/3秒程度)

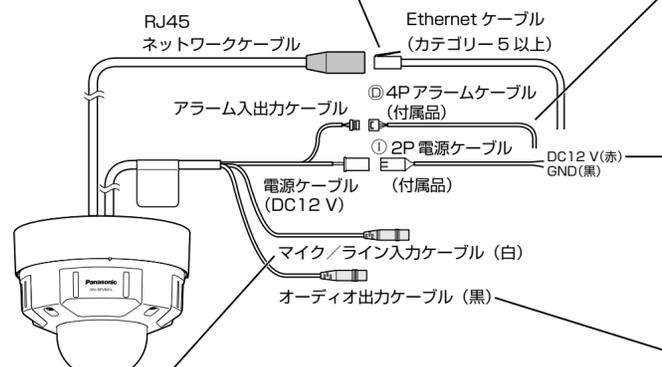
接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム機器の電源は切ってください。

Ethernetケーブル (カテゴリ-5以上) を接続する

重要

- Ethernetケーブルは4対 (8ピンすべて) を使用してください。
- ＜推奨＞ パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533シリーズ (2014年5月現在)
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、DC12 Vが優先されます。*
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 Vを切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され本機が再起動される場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。
- ケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機へネットワークケーブル接続するすぐ近くに避雷器を挿入してください。



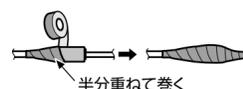
マイク/ライン入力ケーブルとマイクを接続する

- φ3.5 mmのモノラルミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス: 約2 kΩ 不平衡
- 推奨ケーブル長: 1 m未満 (マイク入力の場合)、10 m未満 (ライン入力の場合)
- 推奨マイク: プラグインパワー方式 (別売り)
- ライン入力時入力レベル: 約-10 dBV ●供給電圧: 2.5 V±0.5 V
- 推奨マイク入力感度: -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa、1 kHz)

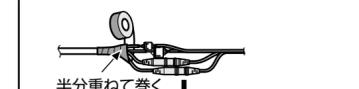
ケーブル接合部の防水処理について

露出配線でカメラを設置する場合はケーブルの防水処理をしてください。本体側は防水ですが、ケーブル端は防水対応ではありません。ケーブルの接続部には、必ず付属の防水テープを使用し、以下のようにして防水処理をしてください。付属の防水テープ以外のビニールテープなどを使用すると、すき間から水が入り、故障の原因になります。

＜ネットワークケーブルの防水処理方法＞

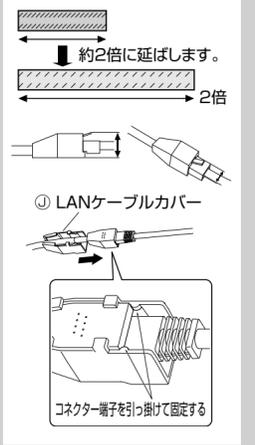


＜アラーム入出力ケーブル、電源ケーブル、マイク/ライン入力ケーブル、オーディオ出力ケーブルの防水処理方法＞



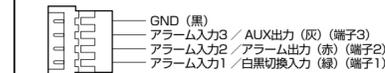
重要

- 2P電源ケーブル (付属品)、および4Pアラームケーブル (付属品) と外部との接続も同様に防水処理をしてください。
- テープを約2倍の長さ引き延ばし (右図参照)、ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き延ばさないと、十分な防水性が得られません。
- ネットワークケーブルのフックが外れないように、挿絵に示すように④LANケーブルカバーをケーブルに取り付け、矢印の方向にスライドして固定します。カメラに使用するネットワークケーブルのコネクターには、以下の制限があります。
- 挿入時の高さ (コネクターの底～返し部): 最大16 mm、コネクターの幅: 最大14 mm
- 屋外に設置するときは接続管などでケーブルの防水処理をしてください。
- カメラ本体は、本書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ、防水 (JIS IP66相当) です。
- ベース金具内部は防水対応ではありません。



アラーム入出力ケーブルを接続する

④ 4Pアラームケーブル (付属品)



定格

- ALARM IN1 (DAY/NIGHT IN)、ALARM IN2、ALARM IN3
- 入力仕様 : 無電圧メイク接点入力 (DC4 V~5 Vプルアップ内蔵)
- OFF : オープンまたはDC4 V~5 V
- ON : GNDとのメイク接点 (必要ドライブ電流1 mA以上)
- ALARM OUT、AUX OUT
- 出力仕様 : オープンコレクタ出力 (外部からの最大印加電圧DC20 V)
- OPEN : 内部プルアップによるDC4 V~5 V
- CLOSE : 出力電圧DC1 V以下 (最大ドライブ電流50 mA)
- ※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。

重要

- 4Pアラームケーブルは必ず付属品を使用してください。
- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、OFF/入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3 (アラーム2、3) の設定 (OFF/アラーム入力/アラーム出力またはAUX出力 (外部出力)) については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。
- 外部機器は定格を超えないように設置してください。

電源ケーブルを接続する

DC12 V電源を使用する場合、2P電源ケーブルにACアダプター (WV-PS16 (別売り)、あるいは 市販品) の出力ケーブルを接続します。

電源ケーブル

DC12 V
赤 プラス
黒 マイナス

重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- 2P電源ケーブルは、必ず付属品を使用してください。
- 2P電源ケーブルは、電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。

オーディオ出力ケーブルとアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

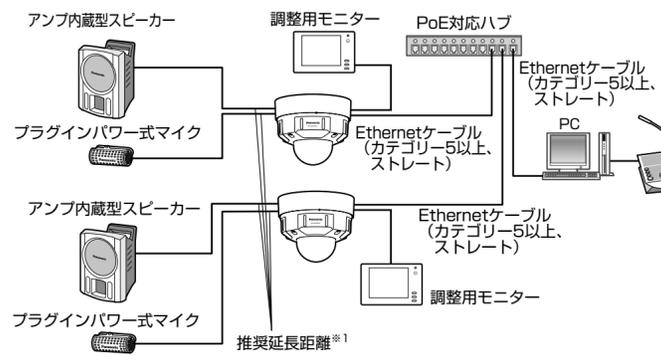
- φ3.5 mmのステレオミニプラグ (出力はモノラル) を接続する。*
- 出力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡 ●アンプ内蔵の外部スピーカー
- 推奨ケーブル長 : 10 m未満 ●使用してください。
- 出力レベル : -20 dBV

重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をONにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出る場合があります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



＜必要なケーブル＞

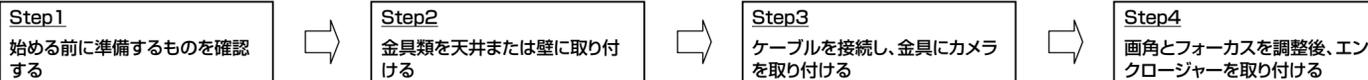
- Ethernetケーブル (カテゴリ-5、ストレート)
- PCと直接カメラを接続する場合はEthernetケーブル (カテゴリ-5、クロス) をご使用ください。
- ※1スピーカー側: 推奨ケーブル長10 m未満
- マイク側 : 推奨ケーブル長1 m未満

重要

- 調整用モニターは、設置時やサービス時の画角などを確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用する調整用モニターによっては、画面上に表示される文字 (カメラIDなど) が欠けて見える場合があります。
- ハブ、ルーターは10BASE-T / 100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

設置する

設置工事を4ステップで説明します。



Step1 設置工事を始める前に

本機を天井や壁面に取り付けるには次の3通りがあり、それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。カメラ設置時の取付条件は次のとおりです。

取付方法	推奨ねじ	最低引抜強度 (1本あたり)
[1] 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける	M4x4本	196 N(20 kgf)
[2] アタッチメント金具を使って天井または壁面に直接取り付ける(天井裏、壁裏面で配線できる場合)	M4x4本	196 N(20 kgf)
[3] ベース金具を使って天井または壁面に取り付ける(接続管を使って配線をする場合、裏面に配線接続のスペースが無い場合)*1	M4x4本	196 N(20 kgf)

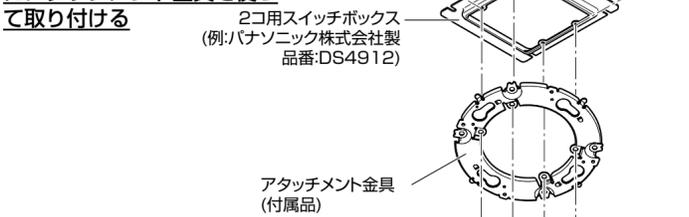
*1 ベース金具にアタッチメント金具を固定するときには、本機に付属されているM4x8 mmのねじ4本を使用します。

重要

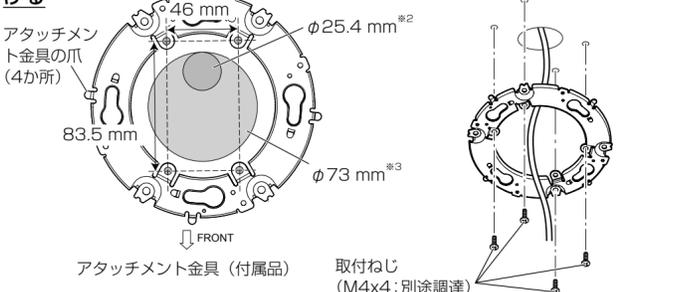
- アタッチメント金具(付属品)またはベース金具(付属品)を壁、天井に取り付ける取付ねじ4本(M4、JIS規格品)を別途ご用意ください。
- 上記 [1] ~ [3] の取り付けに使用するねじもしくはアンカーボルトの最低引抜強度は1本あたり196 N(20 kgf)を確保してください。コンクリート天井の場合は、パナソニック株式会社製のAYプラグボルト(M4)で固定してください。(推奨締付トルク 1.6 N・m {16 kgf・cm})
- ねじの種類は天井または壁面の材質に合わせてご選択ください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石膏ボードなど、強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

Step2 金具を固定する

[1] 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける



[2] 天井や壁にアタッチメント金具を直接取り付ける

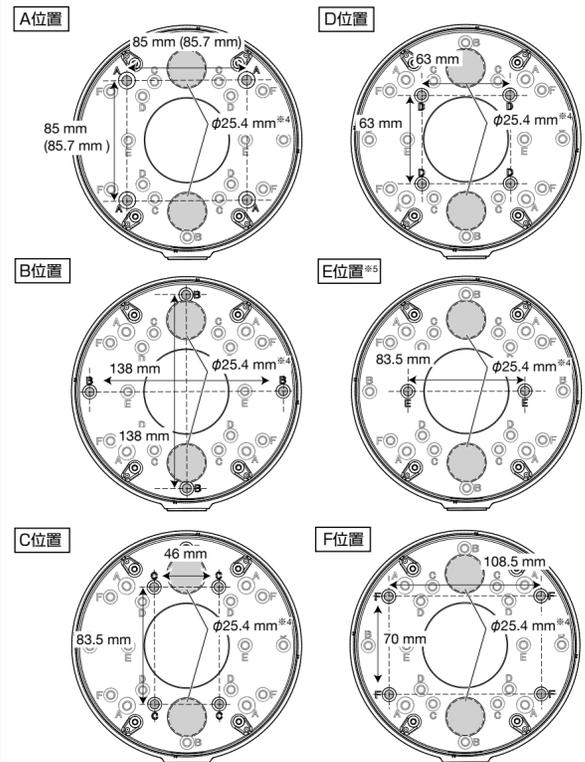


- *2 設置時にカメラの取付方向が決まっている場合
工事前に⑥型紙AのFRONT方向(カメラ取り付け時には本体の取付方向指示マーカ-FRONTの方向)を取り付けたい向きに合わせ、φ25.4 mmの穴をあけます。
- *3 設置時にカメラの取付方向が決まっていない、設置後にカメラの向きを変更する場合
カメラの向きを変更する場合は、中心にφ73 mmの穴をあけます。90°単位でカメラ取り付けの方向を変更できます。

[3] ベース金具を使って天井または壁面に取り付ける

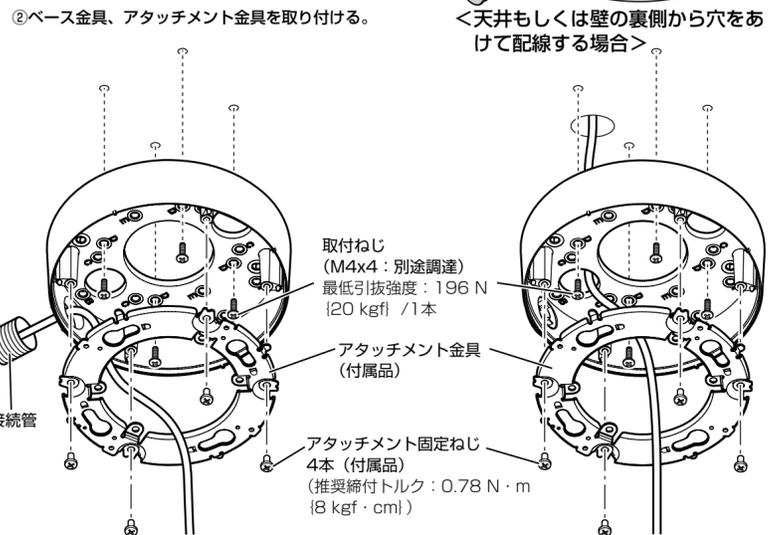
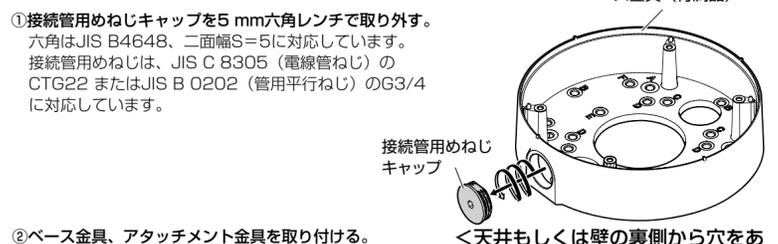
<ベース金具の取付方法>

ベース金具は、天井や壁面の状態によって次の6通りのねじ位置で固定できます。取付に使用する穴は、A~Fの位置で統一してご使用ください。



- *4 配線用の穴径はいずれの場合もφ25.4 mmです。工事の際には⑥型紙Bのベース金具固定用穴2か所のどちらかを選んで工事してください。カメラの取り付け方向は、アタッチメント金具取付後、90°単位で変更できます。
- *5 E位置は1コ用スイッチボックスに取り付ける場合でM4x2本(別途調達)で固定してください。

<天井もしくは壁面の接続管を使って配線する場合>

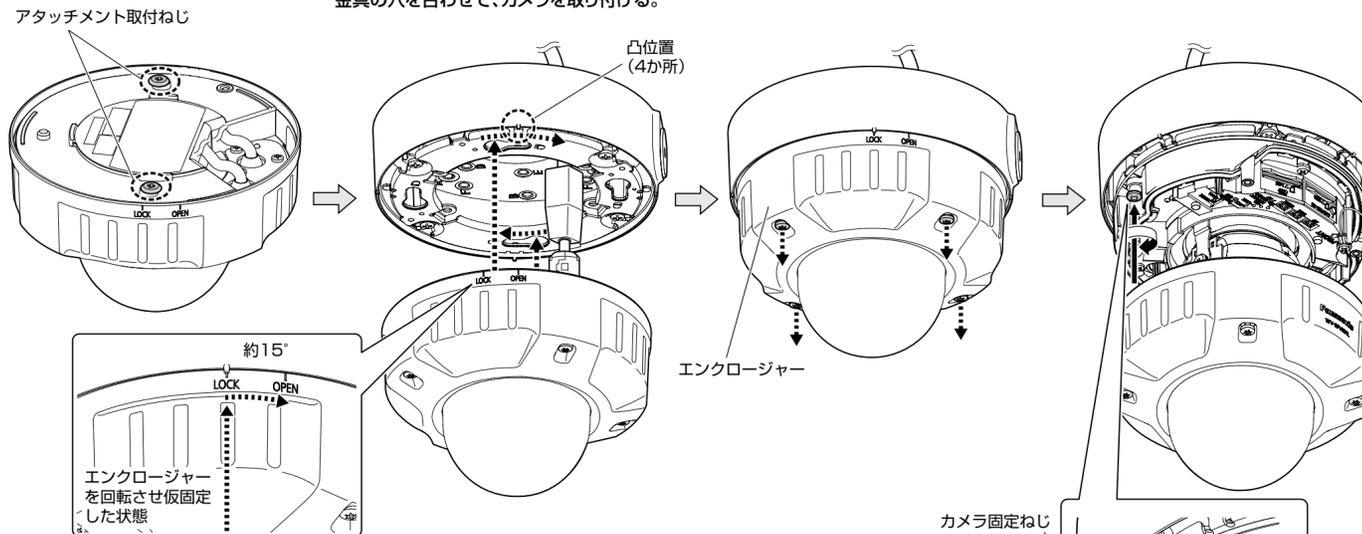


重要

- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。
- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、工事をしてください。

Step3 カメラを金具に取り付ける

- ①カメラ裏面のアタッチメント取付ねじの位置を確認する。
- ②接続のしかたに従いカメラとケーブル類を接続し、アタッチメント取付ねじとアタッチメント金具の穴を合わせて、カメラを取り付ける。
- ③エンクロージャー固定ねじを緩める。
- ④エンクロージャーを本機より取り外し、カメラ固定ねじでカメラを固定する。



メモ

- 本機へケーブル類を接続した後に、エンクロージャー横面のOPENマークをベース金具の凸位置に合わせて、アタッチメント取付ねじ(2か所)をアタッチメント金具へ差し込み、約15°回転させLOCKマークがベース金具の凸位置に移動して仮固定となります。(アタッチメント金具を直接天井もしくは壁面に取り付ける場合はOPENマークをアタッチメント金具の爪に合わせます。)
- 本機の固定角度は90°単位で回転させることができます。

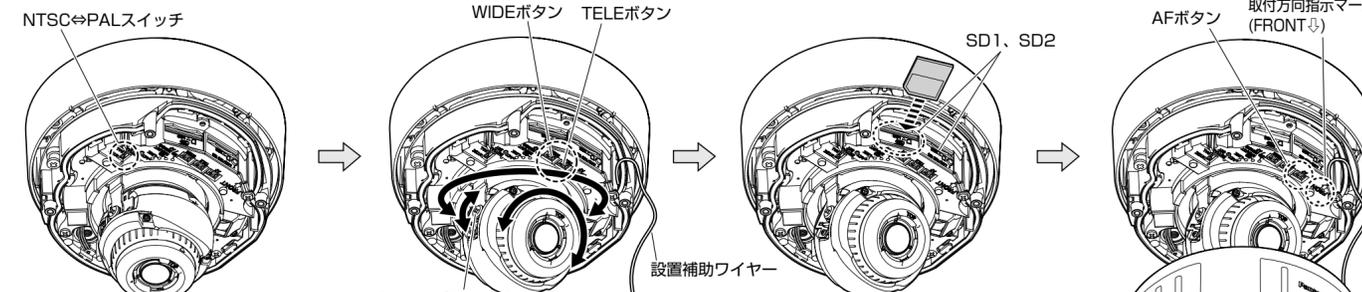
重要

- DC12 V電源、PoE電源は、作業中に電源が入らないようにシステムの電源を切断しておいてください。
- エンクロージャーはカメラ本体に設置補助ワイヤーで固定されていますので、設置補助ワイヤーは外さないでください。
- 壁に取り付けるときは、除湿素子に水がとどまらないように、除湿素子を上側にしないでください。水がとどまると除湿素子が機能しません。

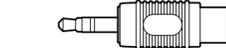
Step4 調整する

- ①カメラの電源を入れ、カメラ部のレンズ上に貼ってある保護フィルムをはがしてください。
- ②カメラ本体のMONITOR OUT端子に付属のMONITOR OUT変換プラグを接続し、調整用モニターをRCAピンケーブル(別途調達)で接続します。
- ③チルトテーブル、パンテーブル、傾き調整リングでカメラアングルを調整し、WIDEボタンまたはTELEボタンを押して目的の画角(視野角)に動かし、最後にチルト固定ねじを締めます。

- 本機の工場出荷時には調整用NTSCモニターが接続できるように設定されています。



- チルト固定ねじ
- 画角を合わせるときは、遮光ゴム、IR LEDカバーに触れないようにご注意ください。指紋などで画質が劣化することがあります。



メモ

- WIDEボタンまたはTELEボタンを使って画面の大きさを調整するときは、カメラのフォーカスは自動フォーカス調整機能で都度調整されます。
- 垂直回転角度およびズーム倍率によってはエンクロージャーの影が映りますのでご注意ください。
- 天井取り付け時の画角調整において、カメラの向きによってはエンクロージャーと設置補助ワイヤーが画面に映ることがあります。画面に映らないようにエンクロージャーや設置補助ワイヤーを移動してください。
- 天井に設置するときは必ずレンズ上側のTOPマークが上側になるようにチルト角度を調整してください。
- 壁に設置の場合、初期状態では画の傾きが逆転しています。傾き調整リングを180°回転させるか、設定メニューの「上下反転」を「On」に設定すると画の傾きが反転されます。設定メニューの「上下反転」の設定方法については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内)をお読みください。
- カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。

メモ

- ビット(付属品)を使ってエンクロージャーの固定ねじ4本を緩めます。

重要

- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。(推奨締付トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm})

- ④必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。
 - SDメモリーカードは、ラベル面を下側に挿入してください。
 - SDメモリーカードの設定については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- ⑤AFボタンを押してフォーカス調整後、調整用モニターを外します。
- ⑥エンクロージャーを取り付ける。カメラ本体のVマークとエンクロージャーのLOCKの線を合わせて、エンクロージャーをカメラ本体にまっすぐに取り付けください。
- 付属チラシの「エンクロージャー取り付けの際のご注意」を参照してください。

- SDメモリーカードを取り外すときは、SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD MOUNTランプが点滅から消灯に変わったことを確認後、SDメモリーカードを取り出してください。
- SDメモリーカード交換が完了したら、SD ON/OFFボタンを押し、SD MOUNTランプが点灯することを確認してください。(SDメモリーカードを2枚とも交換する場合は、2枚とも交換が完了後にSD ON/OFFボタンを押す)
- SDメモリーカードの交換完了後、SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に、自動的にSD MOUNTランプが点灯します。

重要

- エンクロージャー固定ねじ4本は確実に締めてください。落下の原因になります。推奨トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm}
- エンクロージャーを取り付けると、ピンが少しずれる場合があります。エンクロージャーの取り付け後、設定メニューからオートフォーカス機能を動作させてください。
- 設置完了後、ドームカバー表面の保護フィルムを取り外してください。

カメラの設置が完了した後は、付属の「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行ってください。